

当別文芸の会だよりNO. 83

H29・4/28 (連絡先・河地良一 電話 090-5076-2550)

当別文芸の会・8年目がスタート

本州では桜のたよりが聞かれる季節ですが、北海道はまだ肌寒い日が時々顔を覗かせます。それでも確実に春が実感できる4月22日(土)、13:30より白樺コミセンを会場にして、「当別文芸の会・総会」が開催されました。

今年は8年目を迎えますが、総会には12名のみなさんが参加されました(年度始めの会員は21名)。

総会では馬場信行さん(栄町)が議長に選出され、平成28年度の活動報告・決算報告、平成29年度の活動計画案・予算案が承認されました。また、文芸誌「当別文芸」の編集状況なども報告されました。

新年度は、5月から読書会が年7回(8月、1月は休み)、公開・文芸セミナー(10月)、文芸誌感想交流会(12月)、などの他文芸交流会などの予定です。

続いて、世話人が次のように選出されました(任期2年)。代表・河地良一、副代表・大澤勉、同じく副代表兼事務局長・竹原一孝、事務局次長・大澤俊信、会計・森山千恵子、幹事・東前寛治、*新名正勝、*大畑裕貴、監査・久保義雄、*大口弘美さんの10名です(*印は新です)。

続いて「文芸交流会」を開催

今回は、代表の河地良一が「北海道の独自性を考える」ー北海道らしさの創造ーと題して、外地と呼ばれていた北海道の歴史や、国策による北海道の開発などから、自立していない道民性などを指摘し、今後、北海道の進むべき方向・課題などを提言しました。この大地で自信を持って生きていきたいですね。

この後、会場を「ぎんぺい」(弥生)に移動して、会員懇親会が開かれ、文芸から発展して、さまざまな話題が飛び出し、大いに盛り上がりました。

次回の読書会は5月27日(土) 13:30 白樺コミセンです

お渡しした文庫本、あさのあつこの「弥勒の月」(光文社文庫・616円)を御持ちください。

新会員(随時)募集 文学(文芸)を話題にしませんか。

<問合せ先>代表・河地まで(携帯 090-5076-2550)